

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 5月号

2014年5月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：山里 守三郎（翔南病院）

平成26年度会長挨拶

那覇市立病院 樋口 美智子

2014（平成26）年度が始まるにあたり、ご挨拶いたします。

昨年度は、協会が昭和63年に設立されてから25年目の節目の年でした。今年度は、平成24年6月に一般社団法人化してから2年が経過し3年目になります。運営委員をはじめ、会員一人一人の活動へのご協力、どうもありがとうございました。

さて、協会の大きな活動目標である会員の資質の向上は、定例会や研修等を通して取り組んできました。しかし、法人組織である専門職能団体としての社会貢献活動には、十分に組み合わせていないのが現状です。社会情勢はますます厳しくなり、保健・医療・福祉・介護の制度も、住民へ経済的負担を求める傾向になっています。患者さんやご家族、他職種から信頼される実践を積み重ねるとともに、自らの専門性を積極的に様々な形で表現することが、ますます重要になってくると考えます。メゾ・マクロレベルにも視野を拡げ、会員の皆さんが多様な実践に取り組めるよう、協会としてバックアップしていきますので、積極的な協会活動への参加をお願いいたします。



CONTENTS

平成26年度会長挨拶	1
4月定例会報	2
5月定例会	3
めだかの学校	4
運営委員会議事録	5
事務局からのお知らせ	6
新入会員紹介・福祉の窓	7
コラム、編集後記	8

4 月定例会報告

沖縄メディカル病院 比嘉亜希子

日時：平成 26 年 4 月 16 日（水）14：00～17：00

場所：あやかりの杜（北中城村）

内容：①診療報酬改訂について

一般病棟 望月祥子氏（ハートライフ病院）

地域包括ケア病棟 新垣哲治氏（中部協同病院）

回復期リハビリ病棟 香村真範氏（北中城若松病院）

療養病棟 比嘉亜希子（沖縄メディカル病院）

②認定社会福祉士について

樋口 美智子 氏（沖縄県MSW協会会長 那覇市立病院）

始めに 2014 年度診療報酬改訂に関する報告が各病棟別に行われました。

一般病棟：入院基本料（7：1）の施設基準が見直され、在宅復帰機能を持つ病棟や介護施設へ退院した患者割合が新設。加えて、急性期患者の特性を評価するために「一般病棟の重症度・看護必要度」が「一般病棟用重症度、医療・看護必要度」に変更。また、胃瘻については、造設術の評価を見直し（現行 10,070 点→改定後 年間の胃瘻造設術①50 件未滿 6070 点・②50 件以上 4856 点）、適切な嚥下機能検査に係る評価を新設し、胃瘻造設時嚥下機能評価加算①2500 点②2000 点を新設。

地域包括ケア病棟：これまでの亜急性期病棟（平成 26 年 9 月 30 日廃止）の役割を担っており、地域包括ケアシステムを支える病棟として新設。これまで、亜急性期病棟で行われていた、急性期後の患者の受け入れに加え、在宅や介護施設等の比較的軽度の患者受け入れを行う。また、リハビリや在宅復帰支援を行う。

回復期リハビリ病棟：回復期リハビリ病棟入院料 1 を算定する病棟において、専従医師及び社会福祉士を配置した場合の評価として、体制強化加算 200 点（1 日につき）が新設。また、回復期リハビリ病棟への入院前後 7 日間に、患者の自宅などを訪問し、退院後の住環境等を評価した上で、リハビリテーション総合実施計画書を作成した場合の評価、入院時訪問指導加算 150 点（入院中 1 回）が新設。そして、「廃用症候群に対するリハビリテーション」では、評価を適正化し、対象患者から他の疾患別リハビリテーション等の対象患者を除くと定義されている。

療養病棟：療養病棟入院基本料 1 を届け出ている病棟において、在宅復帰率が 50%以上等の基準を満たす病棟を評価し在宅復帰機能強化加算 10 点（1 日につき）を新設。また病床の機能分化を進めるため、慢性維持透析管理加算 100 点（1 日につき）を新設、超重症児（者）の受け入れ促進のため対象者を 15 歳を超えて障害を受けた患者にも拡大。

後半は、「認定社会福祉士・認定医療社会福祉士」について樋口会長より講義・グループワークが行われました。認定社会福祉士制度について学習し、申請経験者の安慶名真樹氏

(大浜第二病院)から、申請の流れやポイント申告について、資料と合わせて報告がありました。その後、「私にとっての国家資格を考えてみよう!」というテーマで各項目に分けてグループワークを始めました。「生涯研修!とは言うけれど…困っていることは?」の問いには、研修会に行きたくてもライフスタイルが変わる参加しにくい。行きたい研修会でも、県外だと旅費の負担が大きい。日中の研修会へは業務との兼ね合いや職場の理解がなかなか得られず参加できない、という声があがりました。「国家資格取得のビフォア/アフター…何が違った?変わらない?」では、自身がついた。給与が上がった。何でも屋になりがちだが、専門性を意識できる。診療報酬上、点数がつき院内での認識が変わった、という意見がありました。その後、「ソーシャルワーク専門職性自己評価表」をチェックし、専門職としてできているところ、努力すべきところを分析しました。

グループワークでは、日頃の悩みや、組織の中で専門性を理解してもらうため工夫していること等を話し合うことができました。専門性は、私たちが意識することが大切であるが、院内の他職種、広く言えば社会的にも認められて深められるものだと思います。また、国家資格や認定社会福祉士制度は、私たちがクライアントや他職種から専門職として認められ、信頼される一つの役割となっていることを学びました。

北中城村の図書館を中心とした生涯学習を支援する複合施設
あやかりの杜 Kitanakagusuku
Ayakari no Mori



5月定例会

下記の通り総会があります。

日時：平成26年5月14日(水) 14:00~17:00

場所：ちゅうざん病院 5階ホール(沖縄市松本6-2-1)

内容：①講演会 『臨床倫理』(仮)

講師 金城 隆展 氏

(琉球大学医学部附属病院 地域医療部 特命職員)

倫理コンサルタント/医療倫理教育)

②総会

めだかの放課後

日時：平成26年5月15日(木) 19:00~20:30

場所：中頭病院 2階 会議室(沖縄市知花6丁目25番5号)

内容：①ワーキンググループ企画

②新年度めだかの学校・初任者研修について

③その他



めだかの学校

日時：平成 26 年 5 月 28 日（水） 19:00~20:30

場所：ハートライフ病院 3 階 講堂（中城村字伊集 208 番地）

内容：①今年度計画について

②各地区リーダー引継ぎ

③その他

平成 26 年度 第 1 回 めだかの放課後（中堅者自主勉強会）

日時：平成 26 年 4 月 17 日（木） 19:00~ 議事録作成：大浜第一病院 嘉手納

場所：中頭病院 2 階会議室

出席者：秦、宮城、當銘、古見、安慶名、嘉手納

1. 内容

- SWOT 分析（戦略的管理手法）と BSC（仕事成果評価）表について、秦より説明。
- 第 3 回県 SW 学会の開催案は、4 月末に当協会運営委員会の承諾、5 月に代表者会議の承諾を得たあと、6 月 19 日に第 1 回実行委員会を開催し、計 5 回で準備を進める。
- 健康フェアの案として、医療費や介護施設入所費など Q&A 方式のパネル 10 問を設置。自前で用紙 A4 を張り合わせる。ヘルプマン、タンバリンなどの漫画をおく。
- 助成金事業の案として、自前で各健康測定器を持ちよりバイタルチェックコーナーを設置、医療機能分化の説明などを行う。大型店等の会場代や各雑費の情報収集をする。
- めだかの放課後はあくまで自主勉強会。中堅という立場なので今後協会の中核的な役割を果たせるよう、スーパーバイザーの実施や初任者研修の講師、新しく MSW リーフレットの作成などを行う。
- 名簿を作成する。現在は 12 名（島袋、伊禮、新垣、新城、古見、當銘、安慶名、秦、宮城、石郷岡、比嘉、嘉手納）
- 勉強会で今後必要なものとして、ホワイトボード、マーカー。
- 今年度より議事録作成を行う。



2. 次回内容

- 各担当の経過報告
- 年度計画の立案、教育体制の検討、その他

3. 次回日程

日時：平成 26 年 5 月 15 日（木） 19:00~

議事録：



平成26年4月運営委員会議事録

参加者：樋口、當銘（司会）、新垣、島袋、伊禮、新城、比嘉（書記）

*研修部

- ・ 5月総会 5月14日（水）14:00～17:00
場所：ちゅうざん病院
講演：「ナラティブアプローチ」 講師：金城隆展氏（琉大附属病院地域医療部）
中堅者研修：7月まで毎月開催 各事項検討へ 議事録作成へ
日程など詳細をニュースで報告し、自主的参加へ
- ・ 6月定例会 事例検討会
- ・ 7月定例会
日時：7月12日（土）午後
内容：「スーパービジョン（実習指導者研修）」 講師：竹沢昌子氏（名桜大学）
- ・ めだかの放課後 5月15日（木）19:00 場所：中頭病院
- ・ めだかの学校 5月開催 事例検討会 発表者：中部徳洲会、スーパーバイザー：喜村へ依頼

*広報部

- ・ 5月号の編集担当：山里守三郎（翔南病院）

*社会活動部

- ・ H26年度の県民健康フェア（8/17）に向けた会議4/24 秦克之（中頭病院）参加。
内容調整中、5月中旬に話をつめていく予定

*事務局

- ・ 2名入会、1名退会、異動2名。組織体制のあり方について、ワーキンググループやブロックごとの体制を検討していく
- ・ 沖縄県ソーシャルワーカー学会及び公開セミナー 平成26年度当会幹事 例年2月第4土曜日（2/14）開催社会福祉セミナー、テーマ 沖縄の家族に関するものを検討。午前は発表、（各団体3例）午後は公開セミナー（シンポジウム）、終了後交流会予定
- ・ 沖縄県医療福祉事業団助成事業（申請期間：4/15～8/5） 7月申請、事業実施計画書を提出「医療ソーシャルワーカーをうまく利用しよう」、をテーマに参加型のプログラムを検討中。
他職種連携・協働で？集客も兼ねてお笑い芸人に寸劇を依頼？
>>>5/13（火）18:30～調整会議、那覇市立病院
- ・ H26年度医療ソーシャルワーカーリーダーシップ研修参加者募集
- ・ 新年度役員の編成、新しいワーキンググループ案を作成する
- ・ 記録担当者へ役割詳細に確認：毎月定例会の記録、年表作成
- ・ ホームページの活用：ニュースにコラム（簡単な事例など）を掲載、MSWの役割啓発へつなげる

次回理事会：5月27日（火）18:30～ 司会：新垣 書記：石郷岡 連絡係：秦

～事務局よりお知らせ～

平成 26 年度がスタートしました。

いつも協会活動への理解と運営へのご協力を頂き、ありがとうございます。

今後の協会のスムーズな運営の為に下記の件でご協力をお願いします。

①職場の移動の方や入会希望の方がいましたら、変更届若しくは入会申し込み書（いずれも協会ホームページ内に書式あり）を記載し、事務局まで提出をお願いします。

②前年度に引き続き今年度も会費は引き落としでの対応を予定しています。預金口座振替届書の提出がまだの方は早めに記載をし、事務局まで提出をお願いします。用紙が無い方は、事務局までご連絡頂ければ、発送します。

会費は今後も引き落としでの対応となり、現金での会費受け取りは行いません。ご協力の程、宜しくお願いします。

③会員全員へ何らかの委員会への加入をお願いしています。

前回発送した書類の中にあります総会出席通知書の下にある委員会希望欄へ希望する委員会名を記載して下さい。

既に出席通知書を提出したが、委員会希望を記載していない方で、希望があれば5月9日（金）までに事務局へ連絡下さい。

総会当日には会員名簿と委員会名簿を作成して配布します。

ちなみに委員会は下記の3つとなります・・・

- ・研修部（学習委員）
定例会などの企画・運営、講師調整など
- ・社会活動部（企画委員）
対外的活動の企画・運営、懇親会の企画・運営など
- ・広報部（広報委員）
MSW ニュースの編集・印刷・記事の依頼など



不明な点やご質問などあれば事務局（大浜第一病院・當銘/098-866-5171）まで連絡下さい。

新入会員紹介

沖縄赤十字病院 長田しのぶ

はじめまして。沖縄赤十字病院地域医療連携室で、4月からお世話になっております、長田しのぶです。

私は今まで、特別養護老人ホームで生活相談員として勤めてきましたが、医療機関での相談員の経験は初めてで、とても勉強になる日々を送っています。急性期の病院という事もあり、日々の業務は慌しく、分からない事も多くありますが、私も早く戦力となれる様に頑張りたいです。

また、4月の定例会にも参加させてもらい先輩ワーカーさん達の経験を聞く事が出来、たくさん刺激をもらう事が出来ました。今後もみなさんからたくさんの助言、ご指導いただきながら成長していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



福祉の窓

▷536

私の母は心臓が悪く、ペースメーカーを入れることになりましたが、医療費のことが心配です。ペースメーカーを入れると、身体障害者手帳が1級となり、医療費の助成もあると聞きました。母も手帳がもらえるのでしょうか？

ペースメーカー費補助は

お母さまの心臓の手術を控えてご心配が多いと思います。手術でペースメーカーなどを入れた方は、心臓機能障害がい者として身体障害者手帳を申請することができます。

これまでペースメーカーなどを入れた方は、一律に1級と認定されていましたが、2014年4月から、ペースメーカー等への依存度や日常生活活動の制限の程度に応じて1級、3級、4級のいずれかに認定されることになりました。また診断の時期は、手術後1カ月以上経過した後になり、制限の程度が改善される可能性のあることから、3年以内に再認定が行われます。ペースメーカーの手術は、身体障害がい者の障害を除去・軽減する手術などに対して提供される、更生のために必要

自立支援医療費の対象に

な自立支援医療費の支給の対象となります。また、患者の世帯の所得や疾病・症状の程度等に応じて医療費の利用者負担が軽減されます。また、市町村が重度心身障害がい者に対して医療費助成制度を実施していますが、対象は身体障害者手帳の1級または2級の保持者となっています。

手術にかかる費用もそうですが、今後は継続的に医療費が必要になってきます。心臓機能障害の程度を担当医に十分説明してもらうとともに、日常生活で困っていることや、お母さまがどの制度を利用できるかなどについて、病院の医療ソーシャルワーカーと相談されることをお勧めします。

(沖縄県医療ソーシャルワーカー協会・樋口美智子)



コラム ●ある日の相談室●

担当：M・H

●・・・「困っているのは、だあれ？」・・・

Tさん（男性）は85歳、知る人ぞ知る「がーじゅう おじい」です。当院の外来には200X年X月初めて来院。以後、電子カルテのカレンダー表示が真っ赤になる程、毎日、いいえ、1日2回も3回も救急車で通院！していました。そして入退院を何回も繰り返し、、、。

担当医・看護師・MSW・消防隊員・市役所職員・地域相談センター職員・かかりつけ医・医療機器業者等、Tさんに関わる何人もが、何度もカンファレンスを開き、頭を抱えました。＜今度はうまくいくかも！＞と思ったのもつかの間、妻の「本人に聞いてからね。」、Tさんの「帰る！いない！」の一言で、また振り出しに、、、。

悩んだMSWは、MSW協会の定例会で事例検討をお願いしました。スーパーバイザーのコメントは、「支援は必ずしも変化には繋がらない。現状維持も支援の形。」でした。不全感を抱えながら年月は流れ、変化があったのは、200X+1年X月、11回目の退院時、訪問看護師を自宅に入れてくれたのです。以後、救急車による通院は、ぴったりなくなりました。Tさんの病状悪化や体力・気力の低下が、要因の一つでもあります。最近は「ありがとう」の言葉も聞かれるとのこと。

そのTさんが久しぶりに入院しました。在宅療養は4ヶ月間でした。訪問診療と訪問看護・ホームヘルパーを利用しています。ケアマネジャー（CM）の目下の悩みは、介護ベッドを利用してくれないこと。MSWは、CMとくりハビリ目的で1ヶ月くらい転院した方が良いのだけどねえ、、、>と立ち話をしながら、Tさんが退院時に言い放った「老人病院に行ったら、あっちこっち行かされて、帰れなくなるんだ！」という言葉思い出しています。

Tさんにく今度は転院しましょう？>と、やっぱり聞かないといけないかなあ、、、。



編集後記

5月ですね。楽しかったゴールデンウィークもあっという間に過ぎていったような気が致します。新年度に入ってテンションが上がり、調子に乗って初めて人間ドックを受けてみました。初の胃カメラ検査、鎮静剤を注射したので、全く記憶がありません。目覚めたら検査は終了しており、医師からの説明を受け、あっという間の1日でした。後日病院から封筒が届き、ホテルのお食事券、もしやキャッシュバックかと思いきや、病院受診（再検査）の招待状でした。

笑っている場合ではありません。正直、ナーバスになっています。

今回原稿を書いていただきました皆さん、ありがとうございました。 ごきげんよう！